

高根神社のお獅子さま

高根神社は、大国主命（おおくにぬしのみこと）の長子・味鋤高彦根命（あじすきたかひこねのみこと）・伊弉冉命（いざなみのみこと）の三柱の神が祀られている。

毎年3月16日の春の大祭が終わると、上尾市の八枝神社から借りてきた「お獅子様」が万灯、賽銭箱を持った人、お札を配る人などと一緒に行列を作り、小江川地内をわまる。この村回りの時、新しく嫁をもらった家に行くと、その嫁を追っかけまわした。昔は、一軒一軒とば口から家の中に入り、ひとしきり暴れ、縁側から出た。各家から一人ずつ行列の後に付き長い行列となった。山中の野口家で夕飯を食べ、お獅子様を揉んだり娘を追っかけ回してから和田川の橋の上で悪魔祓いし、一同手締めし行事終了となり、高根神社に戻った。

昭和34年で中断し、平成4年に「お獅子様」は復活したが、「お獅子様」が小江川地内を回るだけとなった。

